

「 公 共 」	教 科	公 民	単 位 数	2 単 位
	学科、学年、組	環境科学・情報デザイン科、1 学年、5・6 組		
使用教科書	「 高等学校 新公共 」(第一学習社)			
副教材等	「ズームアップ公共資料」(実教出版)			
1 科目のねらい(目標)				
学習の到達目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	40%	・定期考査
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	30%	・レポート ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	30%	・ポートフォリオ ・ノート ・授業観察 ・レポート

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	・公共的な空間を作る私たち ・公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・公共的な空間で生きていくために必要なことを理解・考察・追究する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念を多面的・多角的に理解・考察・追究する。
	・公共的な空間における基本的原理 ・法的な主体となる私たち	・人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのように生かされているかを多面的・多角的に理解・考察・追究する。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を多面的・多角的に理解・考察・追究する。
2	・政治的な主体となる私たち	・地域社会の課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを多面的・多角的に理解・考察・追究する。 ・国際社会の平和と安定を維持するための国際連合の取り組みを多面的・多角的に理解・考察・追究する。
	・経済的な主体となる私たち	・少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを多面的・多角的に理解・考察・追究する。 ・グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいかを多面的・多角的に理解・考察・追究する。
3	・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきかについて多面的・多角的に理解・考察・追究する。